

府内の衰弱野鳥で鳥インフルエンザ陽性！！

京都市で発見された衰弱野鳥（ノスリ）から鳥インフルエンザウイルスが検出されました。（病原性は確認中です。）

現在、家さん農場では9県で15例の高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、日本全国でいつ、どこで発生してもおかしくない状況が続いています。

防鳥ネットや鶏舎周囲の消毒等、防疫対策の徹底をお願いします。

- 採取日：令和4年1月27日
- 採取場所：京都市
- 検査材料：衰弱野鳥（ノスリ）
- 検査結果：鳥インフルエンザウイルス陽性
(病原性確認中)

飼養衛生管理基準を遵守してください。

- ◆ 鳥インフルエンザを疑う症状があれば直ちに当所に連絡
- ◆ 過去21日間の平均死亡率の2倍以上の死亡率を確認した際は通報
- ◆ 農場（周囲や鶏舎内外も含め）及び鶏舎入出時の消毒徹底
- ◆ 防鳥ネット等の破損箇所は補修し、野鳥・野生動物侵入防止を再徹底
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限（特に海外渡航歴の確認）
- ◆ 家さんの飲用水の塩素消毒（または水道水を給与）の徹底
- ◆ ねずみ対策の徹底

